



おひとり様になっても 最後まで自宅で暮らす

流山みらい
楠山 栄子

○ 本市は子育て施策が脚光を浴びているが、「いつまでも住み続けたいまちづくり」として高齢者施策でも期待したい。①本市在宅医療介護連携の成果と今後の取り組みについて問う。②流山でおひとり様になっても自宅で最後まで暮らせるのか。

○ 健康福祉部長 ①平成29年と比較すると市内の在宅療養支援診療所、訪問看護事業所、訪問介護事業所は、それぞれ増加しています。自宅でのみとりを支えるためには連携が重要であり、市内



令和5年度予算編成方針について

自由民主党
中川 弘

○ これまでの3年間の新型コロナウイルス感染症対策の総括について、反省すべき点を中心に問う。それを受け、令和5年度に実施する新型コロナウイルス感染症対策は何か。また、当該感染症対策以外に新たに想定している新規事業は何か。

○ 市長 本市では、感染状況に応じてPCR検査の実施、医療提供体制の確保、陽性者への配食サービス、ワクチン接種時のタクシー費用助成など、適切な対応を行ってきたと考えています。ま



高齢者の 難聴対策の充実を

日本共産党
高橋 光

○ ①国が加齢性難聴を認知症の危険因子と指摘しているが、市の見解は。②全国で補聴器購入補助制度導入が進んでいる。本市も導入すべきでは。③市第9期介護保険事業計画に向けた高齢者ニーズ調査に、聞こえの悪さの設問を追加すべきでは。

○ 健康福祉部長 ①厚生労働省の新オレンジプランでは、加齢などとともに難聴が認知症の危険因子と明記されています。WHOの認知症予防ガイドラインでは、補聴器の使用による生活の質の改善効果を認めています。認知機能の低下を抑えることができるとまでは明言していません。②加齢性難聴による補聴器



ロッカーに入らない！ 流山小学校改修急いで

日本共産党
乾 紳一郎

○ ①流山小学校は、最も古い校舎では築58年が経過。施設老朽化のみならず、配管や体育館、放送設備など対応が必要ではないか。②教室のロッカーに今の大きいランドセルは入らない。時代に適合しない設備は、改善すべきではないか。

○ 教育総務部長 ①流山小学校の施設の経年劣化に対する対応は、包括

け、来年度から数年かけて計画的に改修するよう事業化を検討しているところでは、

食品ロス削減対策について

公明党
野村 誠

○ 市役所本庁舎に、家庭では食べる予定のない食品の回収ボックスの常設を求める要望があり、とうかつ草の根フードバンクのスタッフが管理運営を実施するということが設置に向け関係局との検討を要望したが、その後検討はされたのか。

○ 総務部長 市役所本庁舎への常設の要望であることから、庁舎管理の視点から答弁します。市役所本庁舎でのフードドライブ活動については、これまで令和元年度より年に1回、2日間に



上下水道料金の引き下げを 前向きに検討すべき

大野 隆生

○ 令和4年第3回定例会において、5億円が水道事業会計から一般会計に繰り入れされた。水道事業は、今後も黒字経営が予想される。流山市独

自の施策として、水道料金の引き下げは十分可能であり、前向きに検討すべきと考えるがどうか。

○ 上下水道事業管理者 エネルギー価格の高騰など、水道事業を取り巻く環境は日々変化しています。それらの変化や今後の人口減少に対応できる企業体力の維持、耐震化対応や安定供給のための設備更新の原資とするために、利益剰余金は減積み立てや資本への組み入れを行い資金確保に

努めたいと考えています。水道料金は、平成8年度以降、消費税増税関連を除き、値上げしていません。平成22年度からは、生活保護受給世帯に対し、基本料金および10m以

認知症に関する 条例の制定について

自由民主党
海老原 功一

○ ①本市における認知症者の状況はどのようになっているか。②他自治体では、認知症に関する条例や施策の方向性を定めることについて、本市では、条例の制定を検討しているか。

○ 健康福祉部長 ①認知症患者数を把握できるデータはありません。介護保険の要介護認定の審査を受けた方のうち、主治医の意見書において認知症高齢者の日常生活自立度がIIa以上の方が、



子宮頸がんワクチンの 接種率向上について

公明党
齊藤 真理

○ 本年4月より積極的勧奨が再開されたが、令和5年度より新たに、約90%の子宮頸がんを予防できるとされる9価ワクチンの定期接種に向け、準備が進められている。接種率向上のためにも、再度個別通知を発送すべきと考えるがどうか。

○ 健康福祉部長 9価ワクチンは、子宮頸がんから最も多く検出される7つのウイルスと尖圭コンジロームの原因となる2つのウイルスを予防するワクチンです。現在、定期接種として承認されているのは、2価および4価ワクチンであり、9価ワクチンについては、令和5年4月から接種開

